



〒769-0102
高松市国分寺町国分156-2
代表TEL/087-874-1313
FAX/087-874-1319

http://www.asahidan.co.jp/

●設立 1959年2月
●社長 白井 大介
●資本金 3億2,400万円
●社員数 110名
●基本給 大卒(総合職、技術職)202,000円
大卒(一般職、一般事務職)
短大・専門・高専卒172,000円

●休日休暇 週休2日制(土・日・祝日)、年末年始
年間休日112日、有休10~20日
●福利厚生 各種社会保険完備、育児休業あり、
通勤手当・家族手当・住宅手当・
時間外手当・食事手当など

▶インターンシップの受入れ/なし
▶大学生アルバイトの受入れ/なし
▶採用担当者連絡先/
住所/〒769-0102
高松市国分寺町国分156-2
採用担当者連絡先/087-874-1313
担当/山地

株式会社朝日段ボール

各種段ボール・段ボール箱・包装資材全般の製造・販売



Executive / 白井 大介

すべてを最適化へ——

多様化するニーズに、いかにスピーディに応えるか。そのために朝日段ボールでは、独自システムである

オーダーエントリーシステムを構築

お客様から受注を受けると同時に、製造から出荷までの指示が流れ、その情報は、どの部署からもリアルタイムで確認ができるため、それぞれの部署での効率アップや品質管理、コスト管理などを実現するだけでなく、スピード感を持った供給が可能に。

SNSを利用した情報伝達

ネットワークシステム(タブレット)を活用した営業スタイルで、オンタイムの情報を提供するとともに、社外からもお客様の要望をすぐに反映させることが出来ます。



医薬品用段ボール

品質管理が重要な、医薬品・医療器具などの梱包に使われます。



冷凍食品用段ボール

保冷状態の維持・管理を必要とする、冷凍食品の梱包に使われます。



生鮮食品用段ボール

鮮度保持が必要な、野菜・フルーツ・生花などの梱包に使われます。



工業製品用段ボール

建材・資材などの重みに耐える強度を持ち、精密機械・紙製品などの梱包に使われます。



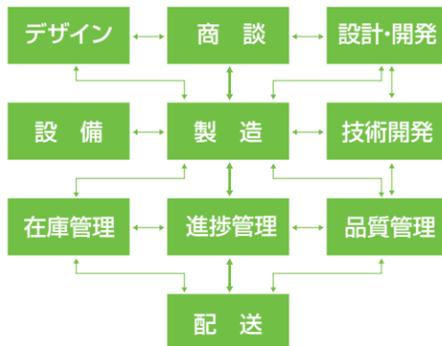
飲料・食品用段ボール

商品ロゴなどを印刷し、広告的要素を加味される機会が多い段ボールです。飲料・食品などのメーカー製品の梱包に使われます。



衛生用品用段ボール

ティッシュトイレットペーパーなど、容量が大きくデリケートな紙製品・日用品などの梱包に使われます。



「はじめから段ボールづくりがしたくて入社する人は少ないでしょう。しかし、段ボールは縁の下力持ちのごとく物流を支えていると知った時、やりがい、誇りをもっていただける確信しております。納めるもの一つ一つに合った強度やサイズを見合う100%受注生産のオーダーメイド品をご提供するには、もの

「はじめから段ボールづくりがしたくて入社する人は少ないでしょう。しかし、段ボールは縁の下力持ちのごとく物流を支えていると知った時、やりがい、誇りをもっていただける確信しております。納めるもの一つ一つに合った強度やサイズを見合う100%受注生産のオーダーメイド品をご提供するには、もの

「はじめから段ボールづくりがしたくて入社する人は少ないでしょう。しかし、段ボールは縁の下力持ちのごとく物流を支えていると知った時、やりがい、誇りをもっていただける確信しております。納めるもの一つ一つに合った強度やサイズを見合う100%受注生産のオーダーメイド品をご提供するには、もの

「はじめから段ボールづくりがしたくて入社する人は少ないでしょう。しかし、段ボールは縁の下力持ちのごとく物流を支えていると知った時、やりがい、誇りをもっていただける確信しております。納めるもの一つ一つに合った強度やサイズを見合う100%受注生産のオーダーメイド品をご提供するには、もの

現場での製造体験を通し提案力と企画力を養う

同

社では、入社後はまず全員が製造部に配属され、段ボールづくりの現場を体験することからスタート。約半年間の実践で、モノづくりというものを肌で感じ、学び取ります。

「はじめから段ボールづくりがしたくて入社する人は少ないでしょう。しかし、段ボールは縁の下力持ちのごとく物流を支えていると知った時、やりがい、誇りをもっていただける確信しております。納めるもの一つ一つに合った強度やサイズを見合う100%受注生産のオーダーメイド品をご提供するには、もの

「はじめから段ボールづくりがしたくて入社する人は少ないでしょう。しかし、段ボールは縁の下力持ちのごとく物流を支えていると知った時、やりがい、誇りをもっていただける確信しております。納めるもの一つ一つに合った強度やサイズを見合う100%受注生産のオーダーメイド品をご提供するには、もの

経

「はじめから段ボールづくりがしたくて入社する人は少ないでしょう。しかし、段ボールは縁の下力持ちのごとく物流を支えていると知った時、やりがい、誇りをもっていただける確信しております。納めるもの一つ一つに合った強度やサイズを見合う100%受注生産のオーダーメイド品をご提供するには、もの



人の思いを総合力と創造力でつなぎ、新たな物流価値をプロデュース

「はじめから段ボールづくりがしたくて入社する人は少ないでしょう。しかし、段ボールは縁の下力持ちのごとく物流を支えていると知った時、やりがい、誇りをもっていただける確信しております。納めるもの一つ一つに合った強度やサイズを見合う100%受注生産のオーダーメイド品をご提供するには、もの

「はじめから段ボールづくりがしたくて入社する人は少ないでしょう。しかし、段ボールは縁の下力持ちのごとく物流を支えていると知った時、やりがい、誇りをもっていただける確信しております。納めるもの一つ一つに合った強度やサイズを見合う100%受注生産のオーダーメイド品をご提供するには、もの

「はじめから段ボールづくりがしたくて入社する人は少ないでしょう。しかし、段ボールは縁の下力持ちのごとく物流を支えていると知った時、やりがい、誇りをもっていただける確信しております。納めるもの一つ一つに合った強度やサイズを見合う100%受注生産のオーダーメイド品をご提供するには、もの

「はじめから段ボールづくりがしたくて入社する人は少ないでしょう。しかし、段ボールは縁の下力持ちのごとく物流を支えていると知った時、やりがい、誇りをもっていただける確信しております。納めるもの一つ一つに合った強度やサイズを見合う100%受注生産のオーダーメイド品をご提供するには、もの

学生時代に、簿記やパソコンのスキルを磨いていたので、それを活かせる事務職に就きたいと思いつきました。当社は、会社説明会で感じた雰囲気の良いに加えて、段ボールは梱包資材として、今後も安定して成長していくだろうと思いついて入社を決めました。

現在は総務部に属し、仕入れ業務をメインに、生産管理課の業務にも関わっています。特に月末月初は、納品書の処理に時間を費やすので、どれだけ確実に、業務を遂行できるかを心がけています。

また当社は、地域貢献活動にも力を入れています。以前地元の中学校へ出前授業に行った際、段ボールベッドの紹介をしたことがあります。その時に感じたことは、段ボールは梱包という実用品でありながら、環境にも優しく、防災時にも活躍するといった可能性を秘めていることを勉強しました。間接的ですが、当社で働くことは地域に役立つことと誇りに思い、励んでいきます。

地域貢献活動にも関わり
段ボールの可能性を発信

総務部総務課
大江 麻子さん
(2019年入社)



社員インタビュー

実際に働いている社員さんに働く楽しさややりがいについてお聞きしました。

営業部営業1課
山下 敦也さん
(2019年入社)

入社後まず、製造課や業務課でモノづくりを学ぶ教育体制のおかげで、その後の営業活動がスムーズに。今は日々精進あるのみ!

段ボールは実用品として日常に欠かせない物で、間接的ではありますが地域貢献にもつながるところ、加えて会社説明会で感じた社内の雰囲気の良いも魅力的で入社を決めました。まずは製造課や業務課で段ボールの基礎を含めたモノづくりの基本や受注から納品までの流れをじっくり勉強。営業に配属となって、その時に培った経験と知識が商談で活かされていると実感しています。ご依頼案件をより満足度の高いものとして提案できたとき、そしてお客様からいただく感謝の言葉がやりがいにもつながっています。まだまだ未熟ですが、お客様が抱く潜在的な要望などもしっかりと引き出した上で、さらに満足と感じていただける営業マンになれるよう精進していきたいと思っています。



製造部

製造部製造課
福家 彰馬さん
(2018年入社)

周囲からの意見を吸収し、
製箱のスキルアップを目指す

就活は、県内で自宅から通勤がしやすい、ものづくりに関われる企業に重点を置いていました。ふと、小学生の頃に、当社に工場見学で来たときのことを思い出して、段ボールが社会の中で、いかに重要な働きをしているかを学んだ記憶を手繰り寄せ、当社で地域に貢献したいと思い決めました。

現在は、業務課が立てた予定をクリアするのが日々の目標。デザインを施した印刷版に、細心の注意をはらいながらインキを転移させ、段ボールに印刷を施す作業をしています。また、最新の機械を多く保有する当社では、その機械をそつなくこなせるようになるには経験と知識が必要です。同部署の先輩や設備の方々のアドバイスを頼りにしながら、一日も早く生産性、品質の向上に取り組み、スキルアップはもとより、機械メンテナンスの技術も磨いていきたいと思っています。



営業部開発推進課
小笠原 真子さん
(2022年入社)

自己成長を目指し
目の前の仕事を着実にこなすことが目標

コロナ禍を機に、増え続けるインターネット通販。今や段ボールは、流通にとって不可欠な製品です。以前は建築業に身を置いていましたが、昨今の段ボールの可能性に興味を抱き、新しいことに挑戦したいと思い当社に転職しました。

お客様はもとより新規の顧客獲得に向けて、ニーズを的確にキャッチし、最適な製品を提供することが目標です。その中で開発推進課の仕事は、社内の支援業務が中心。営業部がお客様の要望を社に持ち帰ったのを受けて、プレゼン資料や新しい提案書を作成していくのが主な業務です。開発推進課に配属になり半年経ちましたが、これからもコミュニケーションを円滑にすることを心がけ、周りの先輩たちを見習いながら、一日も早く自分で処理できる仕事を増やしていきたいです。



製造部生産管理課
吉峰 康平さん
(2017年入社)

生産性や品質を左右する大事な仕事
さらなる経験を重ね高みを目指す

入社後1年間は、製造部で製箱工程を学びました。実際に段ボールづくりの現場を肌で感じる事ができたことが、今の仕事に活かされていると思います。現在所属の生産管理課の業務は、受注から出荷までの一連の流れを一貫管理する部署です。私は、段ボールの原材料である原紙の発注をする仕事を担当しています。

お客様の多様化するニーズに応え、小ロット、多品種、短納期の製品にも迅速に対応することが当社の使命であり強みです。その製造ラインの流れを平準化させ、生産性や品質の向上はもとより、材料のロスや軽減させることが責務。今後の目標は、さらに作業効率をアップさせる、一日の生産計画の予定を作成することができるよう励みたいです。

我々のSDGsの取り組み



災害時の段ボール製ベッドの供給で社会に貢献

当社は、FSC (Forest Stewardship Council®) 森林管理協議会認証の取得をはじめ、美粧印刷や薄物化など、お客様のニーズに合った多様な製品を製造しています。また、災害時に利用される段ボールベッドも製造しています。2019年8月6日には、高松市

と防災協定を締結し、段ボール製簡易ベッドの提供、その組立方を指導するスタッフを派遣するなど、災害時の供給体制を構築しました。これからは社会貢献として、段ボールの付加価値の向上に向けた取り組みを、各自治体と結んでいきたいと思っています。



営業部業務課
三宅 未来さん
(2022年入社)

一歩一歩確実に心掛け業務に邁進
働きやすい職場環境に安堵感

段ボールは、物を送る時の梱包だけのイメージがありました。ある日、防災訓練時に、当社の段ボールを使った簡易ベッド体験のニュースを見て、より興味湧き志望しました。業務課では、お客様からの、FAXで届く注文書の処理や電話対応などを主にしています。

入社して1年、ミスなく処理をすること、お客様の多様なニーズに応えられるよう、丁寧に対応することを心がけています。同年代の女性が多く、分からないことがあれば互いにフォローし合える家族のような社風も当社の大きな特徴です。

先輩の中には、産休・育休を経て職場復帰している先輩も。事務が未経験な方でも、働きやすい環境ですので一緒に会社を盛り上げていきませんか。

